



はなの里だより

社会福祉法人こもはら福祉会

〒518-0609 三重県名張市西田原2000番地 TEL0595-66-1234・FAX0595-65-3480
[URL] <http://www.hananosato-nabari.com/> [E-mail] hananosato0603@komohara.net

第26号
2024年9月

ICT等の取り組みについて

介護

当法人は利用者の皆様の満足度向上と業務の生産性向上の両立に力をいれております。
導入した介護ロボット及びICT技術について、その一部をご紹介します。

1. 眠りスキャン

マットレスの下に設置したセンサーによりベッド使用者の呼吸数や心拍数、睡眠状況、覚醒、起き上がり、離床動作などを遠隔においてリアルタイムに把握することができます。

（導入により）

- 夜間急変時に即時に対応できます。
- 眠りスキャンで検知した睡眠等の情報と日々の記録（食事、排泄、バイタル、入浴等）をあわせて表示することで、日中の様子と睡眠の関連性などの分析に役立てることができます。



2. 眠りスキャンeye

利用者の皆様の映像を遠隔のパソコンや携帯端末で確認できるほか、「眠りスキャン」で設定した状態の変化を検知した際の通知にあわせて、映像を表示できるシステムです。これにより、緊急対応の必要性の可否などについて、よりスピーディな判断が可能になります。また、目的に応じて映像の画質・解像度を変更できる機能を利用しながら利用者の皆様のプライバシーにも配慮をしています。

3. インカム （イヤホンとマイクが一体となった機器で、ハンズフリーでの会話が可能）

昨今の医療福祉分野等では、職員間の連絡ツールとして「インカム」を採用する施設が増加しています。インカムは介護現場での伝達が瞬時に可能となるため、スタッフ間のコミュニケーションを円滑にし、迅速な対応が可能となります。利用者の方々への安全が一層確保されます。



こもはら福祉会は「創造・誠実・協働・挑戦」を合言葉に介護ロボット及びICT技術を積極的に活用しつつ、地域社会との共生実現をめざし、利用者並びにそのご家族との間で今以上の信頼関係を築くべく努力をしております。

保育

4月から新たな保育システムを導入しました。

保護者アプリで登降園を確認し、災害時の連絡手段としても子どもの状況を保護者と共有できます。



園の入り口に設置したiPadに個人のQRコードをかざすと登降園の時間が入力されます。

園での様子をその日のうちに写真や動画で送ることで、保護者からは、「子どものことがよくわかり、会話のきっかけになっています」、また「毎日の連絡帳もスマートフォンで簡単に入力でき、朝の時間にゆとりができました。」との声もいただきます。今後はさらに活用の幅を広げ、保育充実のための事務効率化や保護者との連携に役立てたいと考えています。